

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス りるたうん			
○保護者評価実施期間	2025年9月29日 ～ 2025年10月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数)	8人
○従業者評価実施期間	2025年9月29日 ～ 2025年10月3日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して過ごせる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心して過ごせるよう、毎日の清掃整理整頓を徹底している。 ・活動スペースと休息スペースを分けるなど、構造化を意識した環境設定を行っている。 ・視覚的にわかりやすい表示や掲示を活用し、活動の見通しを持てるよう配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化や行事に合わせてレイアウトを変えるなど、子どもと一緒にいき、ワクワクする空間づくりを通して意欲を引き出す。 ・活動・休憩・学習・感情調整など、目的別にエリアを分けることで、切り替えや安心を支援する。
2	個別支援計画に基づく一人ひとりに合わせた支援と丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントをもとに、特性や状況に応じた支援を実施している。 ・支援内容は職員会議や記録で共有し、チームでの支援を徹底している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が同じ視点で支援を評価できるよう、行動観察のチェックリストを共通化する。 ・3ヶ月ごとに保護者との面談を実施し、目標の達成度を振り返り、課題を共有する。
3	保護者との連携・相談体制	<ul style="list-style-type: none"> ・面談の際に、保護者と日々の様子を共有し、気になる点や小さな変化も早期に把握できるよう努めている。 ・子育ての悩みや不安を受け止め、必要に応じて児発管や相談員が個別面談や関係機関へのつなぎを行っている。 	<p>保護者へのペアレントトレーニングを企画し、ワークショップ形式で他の保護者と気づきを共有できる形で実施。実際の子どもへの関わり方をテーマに、体験・意見交換を通して「家庭でもできる支援のヒント」を学び合う場を設ける。参加者の意見は事業所内で共有し、家庭支援や職員研修の内容にも反映していく。</p>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域・交流機会の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりは少しずつ増えているが、利用児や保護者が参加できる形の交流活動がまだ十分に整備されていない。 ・地域の方や他事業所との協働の場をもっと広げていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動などの地域ボランティア活動を企画し、子どもたちが地域の一員として参加できる機会をつくる。 ・他の放課後等デイサービス事業所と連携し、合同研修会や情報交換会を開催して支援の一貫性を高める。
2	安全計画・訓練の周知不足	<p>事故防止や緊急時対応マニュアルは整備済みであり、訓練も実施しているが、初年度運用のため慣れない部分も多く、職員・保護者への周知が十分とはいえない状況にある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練内容や安全計画の要点を社内システムに記録・共有し、職員全員が確認できる体制を整備する。 ・訓練実施後は情報共有ツールを活用して保護者へ報告し、安心感と理解を高める。
3	職員育成・学びの継続体制の強化	<p>職員一人ひとりが子どもに寄り添った支援を行っているが、経験年数や得意分野による支援スキルの差があり、育成・学びの仕組みが体系化されていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画を策定し、法人内研修・外部研修・eラーニングを組み合わせた学びの仕組みを整える。 ・人事評価制度を通じて、各職員の支援スキルや行動特性を可視化し、評価と育成を一体的に進める。